

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

ゆるる

杜の伝言板

2011
11月号

Vol.174
毎月1日発行

特集
復興への
道

手を取り合って復興へ

●にじいろクレヨン

支援は「場所」ではなく「人」へ

●NPO法人 フェアトレード東北

芸術を通して子どもたちの
心の復興を応援

●塩釜子ども劇場



▲塩釜子ども劇場



▲NPO法人 フェアトレード東北

三つの拠点で
地元根付いた活動を

●NPO法人 みやぎ災害救援ボランティアセンター

大切な人を守るために

●NPO法人 せんだいファミリーサポート・ネットワーク

常に寄り添う気持ちを持って

●NPO法人 ホームひなたぼっこ



●みやぎNPOプラザ

ゆかりのNPOの活動を紹介！

開館10周年記念NPOフォーラム～NPOひろば・NPOのお店～

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

手を取り合って復興へ

にじいろクレヨン

宮城県石巻市は、三月十一日の大地震と石巻湾、北上川から上がった大津波によって甚大な被害を受けました。発災後、百八十ヶ所近い避難所と十一万人を超える避難者がた石巻市では、大勢が不自由な暮らしを続けることになりました。その中には、多くの子どもたちも含まれています。避難所暮らしの子どもたちにとって、遊ぶ空間がなくなることには大きなストレスとなると心配した避難所の大人がいました。それは、石巻市内三ヶ所で絵画教室を運営していた柴田滋紀さんです。自身も津波で自宅を流し、教室二つも浸水しました。

震災後、柴田さんは自身が身を寄せた宮城県石巻高等学校(以下、石巻高校)の避難所で、遊ぶことも我慢し、疲弊している多くの子どもたちの姿を目撃しました。絵画教室や、剣道を通して子どもと繋がりのあった柴田さんは、「子どもたちのために学校のような空間、安心して遊べる場所を提供したい」という想いから、三月二十二日、



▲ 代表の柴田滋紀さん



▼ 外で元気に

石巻市でも避難所クラブ(現にじいろクレヨン)NPO 法人申請中)を立ち上げました。子どもたちは、震災によって受けた心の傷、避難所から仮設住宅へとという慣れない生活環境で生じるストレスなどの問題を抱えているため、柴田さんは、遊びの活動を通して心のケアを続けようと動き出しました。ドッジボールや剣道、サッカー、縄跳びといった体を動かす遊びや、絵本の読み聞かせ、お絵描き、折り紙などの遊びをプログラム化し、丁寧に準備を進めました。最初のうちは、途中で帰ってしまう子どもたちもいましたが、一週間に一回、顔を会わせる活動をしていく中、一カ月ほどでお互いに名前が言える信頼関係が出来て、目の離れる場所に行かなくなりました。

「途中で見えないところに行ってしまう子どもたちは、どこかで自分を気にかけてほしいと思っているんです。でも、段々と自分を見ていてくれる場所だとわかって、私達の目の届く場所

にいてくれるようになりましたね。」と、柴田さん。週一回の活動でも、見守りがあり、甘えることのできる場所があることで、被災した子どもたちは少しずつ落ち着いてきました。各避難所に行き、活動を継続していく場合柴田さん一人だけでは成り立たないため、石巻市に掛け合せてボランティアさんを紹介してもらおうようにしました。三、四、五月は毎週日曜日柴田さんが行けなくとも、思いを共有し、研修を受けたボランティアさんに活動をお願いし夕方まで開催。また、避難所で活動していた市の保育士さん達のお手伝いも得ることができました。

● 一歩、一歩少しずつ

柴田さん自身が避難していた石巻高校ではほぼ毎日活動し、石巻高校以外にも週一回定期的に活動する避難所が六カ所、その他の避難所へは日程をみて不定期で活動してきました。四人くらいのボランティアに対し、参加する子どもたちは十七、八人。多いときには三十人ほどになることもありました。七月からは石巻高校で毎日行っていた活動も、仮設住宅へ移行するにつれ週三回の活動へ徐々に回数を減ら



▲ 青空のもとで秋祭り

しました。現在も定期的に八ヶ所の仮設住宅で活動しています。当初は、「子どもたちが元気に遊べる場所を」ということがメインでしたが、子どもたちの様子を見て、どう接すればいいかを考え、七月からは遊ぶだけでなく、静かに子どもたちに寄り添うことも大事なのだと感じ、今は、ゆっくり話を聞いたり、安心してもらえるようただ側にいることもあります。

現在は石巻市にある避難所も閉鎖され、活動場所は仮設住宅へと移行してきました。十月初めからは、柴田さんの友人から「地元仙台の沖野での支援がしたい、何かできないか」と相談があり、仙台の仮設住宅でも活動を始めています。今後は、こどもを軸とした「ミニミニマイハピ」を目指し新たなつながりを作りたいと考えています。

柴田さんは、子どもたちには、挨拶ができる、活動を通し想像力を育てていく、片付けができる、自己完結自立できる子どもになってほしいという願いを込め日々接しています。

震災からの活動を振り返って、「子どもたちに助けてもらったというんだなと後から気付かされることが多い。哀しみを一度に経験した子どもたちには、これからは、これからは、生きてほしい」と思いを語ってくれました。

にじいろクレヨン
(旧名称:石巻こども避難所クラブ)

〒986-0861
石巻市蛇田字中埠40-1-6
● TEL/080-4462-2416(代表)
● E-mail kodomohinanajoclub@gmail.com

支援は「場所」ではなく「人」へ

● NPO法人フェアトレード東北

石巻市は、十月十一日に、全避難所を閉鎖しました。発災後、救援物資を届けたり、炊き出しをしたりしてきた活動は、これまでに仮設住宅に移った人々の生活支援に変わってきています。しかし、被災して困っているのは仮設住宅にいない方々だけではありません。石巻では、津波で一階に津波が押し寄せた二階で何とか過ごしていた在宅避難者も大勢いました。その在宅避難者を物心共に支援してきた団体に、フェアトレード東北があります。

石巻市を中心に社会的弱者といわれる二ト、引きこもり、精神障がい者などの支援をしてきたフェアトレード東北は、年齢・性別・障害の有無にとらわれず就労の場と生活の場となるソーシャルファーム(注1)として、利用者が実際に稲作をして作ったお米を生産し、「二ト米」の名称でウエルフェアトレード商品(注2)として販売するなど活動をしています。

●●● 日の当たらない 災害弱者の支援を ●●●

東日本大震災直後から支援活動を始めたフェアトレード東北の、石巻市蛇田にある事務所は浸水し、理事長の布施龍一さんの自宅も車も被災しまし

▼ 代表の布施龍一さん



からも必死に歩きました。そして、救援物資が届いていない避難所や限界集落へ物資の提供や炊き出しをしていきました。

その後は、石巻市内の牡鹿半島や渡波地区を中心に孤立した独居高齢者や在宅避難者、障がい者に対してニーズ調査をしながら必要なものを届け、直接支援をしてきました。在宅避難者で特に一人暮らしの方や体が不自由な方は、あまり外出しないため物資の提供も受けていません。そこで定期的に訪問し、場合によっては物資の提供をし、見守りを行っていきます。その中で、医師や介護福祉士など専門的な支援が必要な場合は、連携する団体に引き継いでいく仕組みを作っています。この見守り訪問の「在宅高齢者等支援事業」は、国の緊急雇用対策事業として石巻市から委託されています。

た。それでも、利用者やスタッフの安全を確認するため、腰が海水につき

●●● 顔と顔を合わせた支援 ●●●

在宅避難者の訪問調査は根気と労力がある地道な活動ですが、結果として助かった方や救われた方たちが大勢います。「支援は場所ではなく、人に行うもの。大量の物資よりも必要な人に必要な物資を届けています。」と布施さん。顔と顔を合わせ続けた支援。地元

の団体だからこそできる活動です。震災から二百日。休まず支援を続けてきたフェアトレード東北のスタッフも相当疲れがたまっています。それでも、在宅避難者の方に感謝され、「また来てね。」と言われることでスタッフの疲れも癒え、継続して支援を続けています。NPOの事務所の一階には全国からの支援物資がたくさん置かれており、二階ではボランティアや被災したスタッフと共に、布施さんも一緒に褒泊りしています。しかし、支援をする為のお金も人もまだまだ不足しています。

震災で石巻市内の保育園も半減し、子どもを預けたいというニーズが出てきたため、フェアトレード東北は、来年の二月から託児所をオープンする予定です。



▲ 物資の提供

「親のストレス軽減が子どもに良い影響を与える為、土日でも子どもを預けることができる託児所を作り支援していきます。」と布施さん。でも「市民活動は、本来なくなるべき活動」という観点から震災対応で行う託児所の運営は、三年〜四年を目途に閉鎖する予定です。

被災して困っている多くの人の生活を支えているフェアトレード東北は、これからも継続的に、「人」への支援をしていきます。

(注1) ソーシャルファームとは、障がい者あるいは労働市場で不利な立場にある人々のために、仕事を生み出し、また支援付き雇用の機会を提供することに焦点をおいたビジネス。(注2) 「Weicare Trade(ウエルフェアトレード)」「Fair Trade」「Weicare」を掛けた「Fair Trade」を掛けた造語で、社会的に弱い立場の人たちがつくる国内の製品やサービス、適正な価格で購入・利用することによって、当事者の人たちが、働く喜びと生きがいを持つことを支援する仕組み。



▲ 利用者さんと稲刈り

NPO法人
フェアトレード東北

〒986-0861
宮城県石巻市蛇田字下中塚14-1
● TEL・FAX/0225-94-6883
● E-mail info@si-tohoku.com

芸術を通して

子どもたちの心の復興を応援

塩釜子ども劇場

●●● 事務所が全壊で活動停止に



▲ ガラスが割れ、中は泥を被ってグチャグチャに

子ども劇場は、文化芸術や遊びの体験を通じて、子どもと大人が共に育ち合える地域をつくる活動を続けている全国組織で、塩釜子ども劇場(以下子ども劇場)は、塩釜市、多賀城市、利府町、七ヶ浜町の親子を対象に、年に数回の舞台などの鑑賞(例会)やイベントなどを開催し、地域親子に心豊かな時間を提供してきました。

三月十一日の震災による津波は、子ども劇場の事務所のある北浜地区を襲い、三月六日にリフォームを行ったばかりの事務所は浸水。当日は夜間に運営委員会を開催する予定で、発災時にはたまたま事務所に誰もいなかったが、人的被害はありませんでしたが、建物は全壊状態。活動拠点を失い、しばらく活動を中止せざるを得ませんでした。運営に携わっている三役(運営委員長、運営副委員長、事務局長)や事務局を中心に、通信が思うようにつながらない

中、会員の安否確認を行い会員全員が無事を確認しました。

●●● 再開の舞台で、芸術の力を再認識

四月七日に三役が顔を合わせ、事務所の被害の実態、会員の動き、そして地域の公的な施設の使用状況など出し合いながら、今後の活動の在り方を模索。四月十五日の拡大運営委員会でも、子ども劇場が置かれている厳しい現状を率直に話し合いました。会議の場で「大変な状況だけど子ども劇場はなくさないで欲しい。自分たちにとって大切な場所だ」と高学年生全員の言葉にとても励まされました。震災後の混乱は五月に入っても続きましたが、「こんなときだからこそ、子どもたちに生の舞台を届け、傷ついた心を元気づけたい」と皆の意見がまとまり、六月の例会、名古屋のパフォーマ



▼ 左から、村上さん、百華さん、千里さん、高橋さん

の公演を再開することに決定。活動再開に向け動き出しました。まだまだ震災後の混乱の時期で、会場確保や広報などいくつかの困難がありました。運営委員会や会員が丸くなって準備に奔走し、六月十九日塩釜市遊ホールと共催で「クラウンファミリアープレジャーB」の公演を行い、多くの観客を魅了しました。

「震災直後には、もうこのまま活動ができないのではないか?と思つたほどでした。こんなに早く再開できたことに本当に感動しました」と副運営委員長の高橋紀子さん。「こんな時期なので、来ることに躊躇しましたが来てよかったという方が、とても多かったです。開催してよかったとつくづく思いました」と事務局の村上清子さん。

公演後のアンケートでは、「頑張るぞという気分が前向きになった。震災で心が沈みがちだが、とても楽しく過ごせた。久しぶりに心の底から笑ったなど、どれも公演が被災した方を励ましたことがうかがわれ、芸術の持つ力を改めて知らされました。」

●●● 被災した子どもたちに舞台を届け、心を元気に

次の活動拠点を探していたところ、多賀城市市民活動サポートセンターの貸しスペースの一角を借りられることになり、六月から本格的に活動を再開しました。

通常の例会を開催するほか、十月二十三日(日)には文化庁主催の「次代を担う子ども文化芸術体験事業」に協力し、名古屋の人形劇団むすび座の人形劇「おまえうまそうだな」の無料公演を開

催しました。この事業は、芸術を通して被災者を励ますことを目的に、被災した三県を中心に、被災地域に芸術家などを派遣するというもので、公演費用の一部が国から負担されます。宮城県ではNPO法人みやぎ県こどもおやこ劇場が協力団体として県内各地の子ども劇場が実施し、仙塩地域では塩釜子ども劇場が担当しました。



▲ 人形劇の受付を手伝う子どもたち

「舞台鑑賞を通して多くの子どもたちに元気を届けたいと実施しました。今回の無料公演をきっかけに、子ども劇場の活動に興味をもってもらえれば、と思っています」と高橋さん。

「元のように子ども劇場の活動ができるようになったことが、何よりうれしい」と、今回の人形劇の運営の手伝いをした、多賀城小学校六年生の瀬川千里さんと佐藤百華さん。

震災を経て、改めて子ども劇場の活動の大切さを実感した会員の皆さん。今後も地域と共に、子どもたちの心を豊かにする活動を続けて行きます。

塩釜子ども劇場
 〒985-0873
 宮城県多賀城市中央2丁目25-3
 (多賀城市市民活動サポートセンター)
 ● PHS/070-6623-6559
 ● FAX/022-309-3706
 ● 事務所開館/月曜、金曜 15時~18時
 ● <http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Stage/3405/index.html>

3つの拠点で

地元にも根付いた活動を

● NPO法人みやぎ災害救援ボランティアセンター



▲ 副会長の佐藤年男さん

今から約十五年前に起きた阪神淡路大震災の翌年の平成八年、仙台市で災害に備えた様々な活動を行う

ことを目的にNPO法人みやぎ災害救援ボランティアセンター(以下、ボラセン)が立ち上げました。災害救援ボランティア活動マニュアルの作成や、行政と協力して行う防災訓練、災害救援ボランティアの啓発などを継続的に行い、平成十一年四月にNPO法人となりました。平成十五年の宮城県北部地震や平成十六年に起こった新潟県中越地震など新潟と東北各県の大災害時にボラセンとして、ボラセンをコーディネートして活動してきました。

● 自立した避難所と 救援物資館

三月十一日の東日本大震災では、仙台市にある事務局本部と、塩釜支部、登米市を拠点とした東北支部の三か所で支援活動を行い、災害当初からボランティアコーディネートや炊き出しをしました。塩釜では四月まで「共助の避難所」を立ち上げ、一般の避難所では生活しづらい全盲の方や寝たきりの方など

を含む五十六名が利用するなど、地域に根差した活動をしてきました。

東北支部では、登米市を拠点として、気仙沼市、南三陸町、石巻市、東松島市へ救援物資を運ぶ支援活動をしました。そして四月三十日からは、支援物資を被災者の方々の目で選び自由に利用頂く「災害ボランティア館オアシス」を登米市内にオープンし、避難者に必要な物資の配布や、県や市に届いた支援物資また、個人からの提供を受け、物資の配布をしてきました。避難者が、自分たちで必要なものを選ぶというシステムです。毎週土日に開放し、一日最大で三百人の方々がオアシス館に訪れ、物資の提供を受けました。支援物資の膨大な仕分け作業、選んでもらう為の展示作業は多くの労力が必要でしたが、地元でボラセンを呼びかけて実行することができました。この事業は、七月末で終了しています。

この他、仙台市の若林体育館や上



▲ 共助の避難所

荒井公会堂、多賀城地区仮設住宅などでフリーマーケットを開いて、支援物資の配布をしてきました。

● 防災訓練の必要性

避難所が開鎖され、これまでのボランティア派遣やコーディネート、炊き出しや物資の提供などの支援は、今は、仮設住宅の生活支援などに移ってきています。みやぎ災害救援ボランティアセンターは、被災者支援と合わせ、本来の目的である災害に備える活動も行っていきます。今回の震災で浮き彫りになった今後の課題に対して対策をしていく予定です。

一つは避難所運営の在り方。初期の避難所では住民たちが自らルールを作っていく運営していききました。その中で、問題やトラブルが生じて住民は多くのストレスも感じていました。そこで、今後は防災訓練で避難所運営の訓練も取り入れていくことが重要になります。

「災害時には待っているのではなく自分たちで行う」という意識が一番大切ですが、この意識付けには防災訓練が必要で、特に今後は若い人たちに對して、意識付けを明確にして訓練を行っていききたい。」と副会長の佐藤年男さんは言います。

● 将来を見据えての活動を

また、ボランティアコーディネート

▼ 救援物資展示館オアシスでの物資配布



や津波に對しての意識など多くのことが課題として残りました。そこで、災害救援ボランティア活動マニュアルなどの改正も行い、先を見据えての活動もしていきます。

長く続けていくとともに、東北以外の方々にも今回の震災の教訓を生かして、災害に備える活動を行ってほしい。」と佐藤さん。そういった意味で、県外からの災害視察などの受け入れも行っています。

震災で自分たちも被災したにもかかわらず地元からこそできることをすぐに行ってきたみやぎ災害救援ボランティアセンター。今後も地域や目先のことでなく、広い視野を持って活動を継続していきます。

NPO法人
みやぎ災害救援ボランティアセンター
〒984-0015
仙台市若林区卸町5丁目3-6
● TEL・FAX/022-783-1230
● E-mail info@m-drc.org
● URL <http://www.m-drc.org/index.php>

大切な人を守るために

NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク

三月十一日、午後二時四十六分、あなたはどんなところで、何をしていますか？

子どもを持つ親にとつて、「子どもは無事か？」ということが頭いっぱいになったことでしょうか。

仙台市の中心部に位置する「子育てふれあいプラザ」のびすく仙台」を利用する親子やここでボランティアをした方々二百一人に、「あのとき」を聞くアンケートをとりました。その声を「子育てファミリー」のための地震防災ハンドブック「大切な人を守るために」に今できること」に掲載し、のびすく仙台の管理者せんだいファミリーサポート・ネットワークが製作しました。

その時

のびすく仙台は、仙台市青葉区の広瀬通りに面する仙台市ガス局ショールーム三Fにある乳幼児とその家族のための施設です。おやつを食べながら親子で楽しく過ごせるひろばと一時預かりがあるほか、子育て情報も提供しています。

その時「のびすく仙台」は、ハンドブックにこう記しています。

ドーンという大きな揺れと同時にスタッフはひろばに向かいました。「広場の真ん中に集まってください！子どもたちを守ってください」お母さんたちは子どもたちに覆い被さるようにして揺れが収まるのを待ちました。

「この建物は震度七まで大丈夫。ここを動かないで。」同じことを繰り返して伝えていたように思います。何度も震ってくる大きな揺れに「止まってくれ！」心の中で叫んでいました。長く長く感じた七分間でした。

その瞬間、母たちは…

この時間、多くの方は、仕事にいたり、買い物中だったり、車の運転中だったり。子どもたちは、学校や幼稚園で遊んでいたりと、教室にいたり、保育園ではお昼寝を終えるころだったり。この後の行動を母たちはどう記しています。

仙台駅から二歳の娘と帰宅途中でした。雪のため、帰宅を断念。近くの小学校の体育館へ避難。幼い子どもと二人きりで、家族と連絡もとれず、心細かったので、とにかく周囲

の人に話しかけました。職場から徒歩で帰宅。暗闇の中、津波で浸水した道路を腰まで水につかって必死で子どもたちの避難場所を探し、夜十時過ぎにようやく会えました。子どもたちの命を守ってくれた保育所の先生方に今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

保育園にいる息子を迎えに行きました。余震も続き、災害伝言ダイヤルも保育園の携帯も繋がらず、不安な気持ちを抱えて指定の避難所に向かいました。道路はものすごい渋滞で、いつもは十数分の距離が一時半近くかかりました。無事息子と対面した時は安堵して涙が溢れて…

このハンドブックには、地震発生時の行動ポイントや、安全に避難するための心得、被災生活のママの心

得のほか、ライフラインが止まった時に役にたつ生活の知恵あれこれに掲載されているほか、非常時の「母乳」、不安な母たちの心に寄り添うメンタルケア、震災後の子どもの変化に対しての心の支援についてなど、震災に会った時のアドバイスと情報が載っています。

せんだいファミリーサポート・ネットワークの代表理事であり、のびすく仙台の館長である伊藤任佐子さんは、「失ったものは大きく、深く傷ついた心の回復は、簡単ではありません。のびすく仙台も、みんなのために、そして一人のために、一歩に前に進んでいくための力になっていければと思っています。」この「子育てファミリー」のための地震防災ハンドブックは、今、無料で配布中です。

子育てファミリーのための地震防災ハンドブック

子育てファミリーのための地震防災ハンドブック



大切な人を守るために
今できること



仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台

NPO法人せんだい
ファミリーサポート・ネットワーク
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-17-204
●TEL・FAX/022-714-2088

仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台
〒980-0803 仙台市青葉区中央2-10-24
仙台市ガス局ショールーム3階
●TEL/022-726-6181
●URL <http://www.nobisuku-sendai.jp/>

常に寄り添う 気持ちを持って

● NPO法人 ホームひなたぼっこ

人口四万三千人余りの岩沼市は、仙台市の南十七・六kmに位置し、南市境には阿武隈川が流れ、国道四号と六号の合流点があり、更には、宮城の空の玄関である仙台空港が所在しています。この岩沼市も太平洋沿岸沿いは、大きな津波の被害を受けました。特に、仙台空港では、滑走路の飛行機が津波に浮き、空港ビルは、大津波のために一階の天井まで水が達し、大量の泥やがれきが流れこみまじり、利用客や地域住民が一時孤立状態となり、隣接する駐車場は、何台もの車が折り重なるなど、沿岸部は壊滅的な被害を受けました。この震災で、岩沼市民百八十三人が死者・行方不明者となっています。内陸部は被害が少なかったことで、より被害の大きかった人々への支援活動へ動いています。

●●● 地域に根づいた活動を

託児事業、通所介護事業を行っている、NPO法人ホームひなたぼっこは、平成十一年に開所し、現在は地域交流サロンや、障がいを持った児童のデイサービスも行っていきます。

赤ちゃんからお年寄りまで一つ屋根の下、スタッフや地域の方々と助け合い、支えあいながら、多世代交流の場と

▼ ホームひなたぼっこ



して、常に寄り添う気持ちで活動することを心がけています。震災では、岩沼市中心部に位置していたため施設の被害も比較的少なく、利用者の

方々、スタッフも無事でした。

震災後、県内で家庭の延長線上を意識した宅老所を運営する団体のネットワーク団体、NPO法人みやぎ宅老連絡会事務局と連携し、事業所に寄せられた支援物資を被災した団体になく窓口となりました。連携することで、今何が必要とされているか、情報を共有し、自分たちができることを素早く行動に移すことができました。また、物資を提供するだけでなく、同じデイサービス事業を営むNPO法人団体へ赴き、施設内の清掃や家具修理などのサポートをしました。

「そんな大それたことだなんて思っていないんです。ただのお手伝いです。だって同じ活動を行っている仲間でしょう。」と話すひなたぼっこ代表の

▼ お茶っこで昼食を



周囲の方々と相談しあい、九月から仮設住宅での「みんなのおしゃべりサロンお茶っこ」を開始しました。地域ボランティアの協力により、音楽会やマジックショー、読み聞かせを楽しみ、温かな昼食を

布田幸子さん。
震災後、被害が少なかった事業所は、自宅への帰宅が困難な方や、介護・保育を必要とする避難所からの受入対応もしました。そして不安を抱えた利用者さんや、そのご家族に声がけし、以前のように利用してもらえぬ場をつくり、お互いが支えあい活動が続いています。



▲ 代表の布田幸子さん

●●● みんなでゆったり、のんびり

布田さんは、自らの託児事業、通所介護事業活動を続けながら、避難所から仮設住宅へ移っていく過程をみて、これからは仮設住宅での活動も必要なのではないかと感じるようになりました。それは、今までとこれからの必要とされるものが違ってきたと感じたこと、そして多くの支援団体が入っているとはいえ、今動ける地元の方が自分たちが何かできないかなと考えたためです。

みんなでおしゃべりしながら囲みます。そして手遊びやゲームで笑いあい、健康体操で体をほぐし、室内は参加者の元気な歌声、笑い声であふれます。そんなふうに過ごしながら、日頃のストレスが少しでも和らぐように活動しています。

お茶っこは小さな子どもさんからお年寄りの方まで、岩沼市の仮設住宅を利用している方であれば、どなたでも参加することができます。参加費百円、軽食費百円を毎回積み立てていき、みんながバス遠足へ行くこうーというのが当面の目標です。

「周囲の方々と協力しあいながら、今私達ができることを一生懸命していきたい。活動が増えたというわけではない。活動がなくて、必要性が出てきたので活動にうつしたような形ですね。」と布田さん。

これから地域に根差し、周囲とのつながりを大切に活動していきまします。



▲ ゆっくり話をしながら

NPO法人
ホームひなたぼっこ

【事務局】
〒989-2445
岩沼市築原2丁目1-6
●TEL/0223-24-0674
●FAX/0223-24-0694
●E-mail home_hinatabocco@tenor.ocn.ne.jp

ゆかりのNPOの活動を紹介！ 開館10周年記念NPOフォーラム ～NPOひろば・NPOのお店～



「みやぎのNPOひろば」は、この十年の間、みやぎNPOプラザの貸事務室や常設ショップ、レストランを拠点に活動した四十九団体の中から、八つのNPOが、講座やワークショップを開き、自分たちの活動をわかりやすく紹介するイベントを行います。

また「NPOのお店コーナー」では、四つのNPOがお店を開き、他ではなかなか手に入らないものを販売する予定です。

「NPOってちょっと興味があるな...」という方なら、ただでも参加できます。みやぎNPOひろばは申込みが必要なものの、参加費が必要なものもありませんので、詳細については、みやぎNPOプラザへ直接お問合せいただくか、

「みやぎNPO情報ネット」
<http://www.miyagi-npo.gr.jp>
をご覧ください。あなたもぜひ、参加してみませんか？

このフォーラムは、ゲストを迎えて、震災関連の報告会やNPOのこれまでの歩みを振り返り、これからNPOの進む方向について考えるパネルトークなどが行われるほか、「みやぎのNPOひろば」、「NPOのお店コーナー」などを行う予定です。

NPOの活動を わかりやすく紹介

みやぎNPOプラザは、平成十三年四月一日に開館し、今年で十周年を迎えました。これを記念して、十一月十九日(土)十時三十分から「みやぎNPOプラザ開館十周年NPOフォーラム」を開催します。

みやぎのNPOひろば

部	時間	内容	要申込
午前の部	●1回目10:30～11:15 ●2回目11:30～12:15	クेशーの会/女性を対象にアロマの香りの中で、ゆっくりと体をほぐしながら尿もれを予防できる体操を行います。	要申込
	●10:30～12:30	ゆにふりみやぎ/みやぎNPOプラザとその周辺をお散歩しながら、身近なバリアフリーを見つけましょう!	要申込
	●1回目10:30～11:30 ●2回目12:00～13:00	フラワーセラピー研究会仙台/ワイルドフラワーを使ってフラワーセラピー体験(お花のアレンジ)を楽しみましょう! 通常花材費1,000円のところ、800円で参加できます。	要申込
	●10:30～13:30	NPO法人グループゆう/みやぎNPOプラザのレストランを開店していた3年間の発達障がい者の自立(就労)に向けた取組みの成果と課題をお話します。	要申込
午後の部	●13:00～14:00	NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ/ケニアのスラムの住人への支援活動(小学校運営や職業訓練所の開設、フェアトレード事業)のあゆみをご紹介します。	要申込
	●13:00～15:00	仙台生ごみリサイクルネットワーク/大学の先生による講演とガイガーカウンターを実験に使用して、落ち葉堆肥の放射能を測定する実演などを行います。	要申込
	●14:30～16:00	NPO法人経営体質改善サポート宮城/間もなくやってくる「少子・高齢化社会」を生き抜くために、成年後見制度や老いの問題の解決事例などを学びましょう!	要申込
	●14:00～17:00	NPO法人シャロームの会/障がい者(特に心の障がい者)への関わり方や、支援するボランティア活動、共に働く事業所を創造していくことについてお話します。	要申込

※事前申込が必要な講座につきましては、みやぎNPOプラザまでお申込ください。

NPOのお店コーナー ●会場:みやぎNPOプラザ交流サロン ●時間:11:00～15:00

- 仙台生ごみリサイクルネットワーク 無農薬・無化成肥料で育てた「岩切曲がりねぎ」「有機米「たきたて」と廃油せっけんの販売
- NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ ケニアの布で作製したバッグや衣類、バナナの葉で作ったリサイクル民芸品などの販売
- NPO法人とうほく食育実践協会 福祉施設と連携して製造した3種類のジャム(ブルーベリー、ブルー、苺)の販売
- NPO法人おおさき地域創造研究会 遊覧した南三陸町の被災者と受入先の岩出山の方々がつくった新聞バック、海山セット(農産加工品・野菜などの詰め合せ)、布こものなどの販売

● NPO法人の設立を新しく申請した団体 (2011年9月11日～10月10日申請分)			
団体名	所在地	活動内容	受理日
みやぎみなとまちづくり市民会議	塩竈市	環境教育、人材育成を通じたひとづくり及びまちづくり事業等	9/27
BAROQUE WORKS	気仙沼市	地域復興及び地域活性化事業等	9/28
グットニュース・プロジェクト	黒川郡大衡村	ゴスペル音楽普及のためのイベント事業等	9/28
菜・ステーション	仙台市宮城野区	生産者と消費者との提携拡大事業等	9/30
巨理いちごっこ	巨理郡巨理町	コミュニティの場の提供及び震災復興事業等	10/3
生活支援プロジェクトK	気仙沼市	応急仮設住宅及び被災地地域における生活支援事業等	10/5
● NPO法人に認証された団体 (2011年9月11日～10月10日まで)			
団体名	所在地	活動内容	認証日
愛宮城	仙台市青葉区	被災地産物の販路拡大事業等	9/14
南蔵王郷四條司御料荘園	白石市	南蔵王の資源と農業生産物を用いた食文化交流事業等	9/14
HERO	仙台市泉区	キャラクターショーの開催等	9/22
アスイク	仙台市青葉区	子ども、若者に対する教育的支援事業等	9/27
セージハウス	仙台市青葉区	福祉施設併設の集合住宅の建設・運営事業	9/28
スマイルシード	仙台市青葉区	smile seed Letter事業、支援活動のサポート事業等	10/5

宮城県の
NPO法人数

599
団体

2011年8月10日
現在数

※解散、所轄庁変更、
認証取消、撤回した
団体を除く。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。
みやぎNPO情報ネット
<http://www.miyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

平成23年度 社会福祉助成

【NPO復興資金助成】

- 助成対象:東日本大震災により被災した事業の復旧や復興に必要な費用、被災地における地域の復旧や復興に寄与する活動を通じて団体の復旧や復興にもつなげる事業
- 対象団体:・東日本大震災の被災地に所在する団体(詳細は要項をご確認ください)
・1年以上の活動実績をもつ、障害者・高齢者を対象とした、主として在宅福祉活動を行うNPO、またはその活動を支援するNPO
・特定非営利活動法人、社会福祉法人の法人格を取得している団体、あるいは取得を目指している団体
- 助成金額:1団体あたり上限100万円(総額1,000万円を予定)
- 助成期間:平成25年3月末までに実施・完了される事業
- 募集締切:11月16日(水) 消印有効

【NPO法人設立資金助成】

- 助成内容:NPO法人設立に必要な費用(使途は不問)
 - 対象団体:以下の要件を満たす団体
・東日本大震災の被災地に所在する団体(詳細は要項をご確認ください)
・社会福祉の分野で活動し、NPO法人の設立を計画している団体(平成23年4月1日以降に申請書を提出している団体(認可済みの団体も含む)も対象)
※平成24年9月末までに設立認証申請を行うことが原則
 - 助成金額:1団体あたり30万円(総額390万円を予定)
 - 募集締切:12月9日(金) 消印有効
- 【NPO復興資金助成/NPO法人設立資金助成共通事項】
- 連絡先:公益財団法人損保ジャパン記念財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL:03-3349-9570 FAX:03-5322-5257

2012年度 JT NPO助成

- 助成対象:1)通常助成/日本国内において、地域社会の核となって実施する地域コミュニティの再生と活性化につながる事業
2)被災地支援助成/岩手県、宮城県、福島県において、被災地域の人々と共に取り組み、被災地域コミュニティの復旧・復興をテーマとした事業(活動分野は不問)
※東日本大震災での被災地支援に関する活動に対し、数件程度優先して助成を行います。
- 対象団体:2011年9月30日時点で、法人として1年以上の活動実績を有する非営利法人
※2)については、岩手県、宮城県、福島県に本拠地を置く組織
- 助成金額:1件あたり年額最高150万円(40件程度)
- 助成期間:2012年度内に実施を計画している事業
- 募集締切:11月20日(日) 消印有効
- 連絡先:日本たばこ産業株式会社 CSR推進部社会貢献室
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
TEL:03-5572-4290 FAX:03-5572-1443

2011年度「連合・愛のキャン」助成

- 助成対象:・地域における高齢者・子ども・しょうがい児(者)を含めた地域ぐるみの助け合い・支え合い活動
・2010年12月～2011年11月末までに立ち上がった、または開始する予定の新しい活動
※既存活動の継続は対象となりません。
- 対象団体:市民互助型・草の根型市民団体・グループ
- 助成金額:1団体上限15万円(27団体を目的に助成)
- 募集締切:11月25日(金) 必着(郵送に限る)
- 連絡先:公益財団法人さわやか福祉財団 立ち上げ支援プロジェクト
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階
TEL:03-5470-7751

平成24年度 年賀寄附金配分

- プログラム:(一般枠)活動・一般プログラム、活動・チャレンジプログラム、施設改修、機器購入、車両購入
(特別枠)東日本大震災の被災者救助・予防(復興)助成
- 助成対象:「お年玉付郵便書等に関する法律」により定められた10分野の事業
※詳細は要項をご確認ください
- 対象団体:(一般枠)社会福祉法人、更生保護法人、特別社団法人、特別財団法人、公益社団法人・公益財団法人、特定非営利活動法人(特別枠)法人登記後満1年以上を経過している、営利を目的としない法人
- 助成金額:1件あたり上限500万円
※活動・チャレンジプログラムは上限50万円
- 助成期間:配分決定～平成25年3月末日までに経費の精算(支払い)も含めて完了するもの
※活動・チャレンジプログラムについては、事業内容等に応じて4年間連続して配分を受けることも可能

- 募集締切:11月30日(水) 消印有効
- 連絡先:郵便事業株式会社 経営企画部
環境・社会貢献室内 年賀寄附金事務局
〒100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2
TEL:03-3504-4401 FAX:03-3592-7620

赤い羽根共同募金 平成23年度募金による平成24年度助成

- プログラム:・住みよい地域づくり支援事業/高齢者や障がい者を含め、全ての人
が安心して暮らせる地域づくり、また大規模災害が発生したときでも、互いに助け合えるような地域づくり
・子育て支援事業(子育て相談等支援事業、認可外保育所整備事業)/安心して子育てができる環境づくり、また次代を担う子ども達の健全やかな成長を支援することを目的とした、住民同士の自主的な取り組み
※東日本大震災で被災した地域社会の復興に向けた活動であることを優先
- 対象団体:活動場所・拠点を仙台市内とするボランティア団体・市民活動団体/NPO、地区社会福祉協議会、町内会
※認可外保育所整備事業は仙台市内の認可外保育所が対象
- 助成金額:上限25万円
- 助成期間:平成24年度内に完了する事業
- 募集締切:11月30日(水)
- 連絡先:仙台市共同募金委員会
仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ6階
社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会内
TEL:022-223-2026 FAX:022-262-1948

財団法人せんだい男女共同参画財団 設立10周年記念特別助成事業

- 助成対象:仙台市の男女共同参画推進に向け、市民活動の活性化・啓蒙の広がりなどを目的に行う非営利の活動・事業
- 対象団体:男女共同参画推進に向け、仙台市内を拠点に活動している団体・個人
- 助成金額:上限50万円(1万円単位)
- 助成期間:助成決定後から概ね平成26年度まで
- 募集締切:12月20日(火) 必着
- 連絡先:財団法人せんだい男女共同参画財団
〒980-6128 仙台市青葉区中央1-3-1 アエル28階
TEL:022-212-1627 FAX:022-212-1628

東日本大震災 芸術・文化による 復興支援ファンド(GBFund)

- 助成対象:1)被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動(表現方法・形態は不問)
2)被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動
3)その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動
※被災地での実施の有無は不問
- 対象団体:アーティストや芸術団体などの文化関係者に限らず、芸術愛好家や地域の伝統芸能の担い手など幅広い芸術・文化活動を行う市民・団体も対象とします。
- 助成金額:ひとつの活動につき原則上限50万円
※同一の団体・活動に対し、継続的に支援する場合もあります。
- 募集締切:11月30日(水) 消印有効
- 連絡先:公益社団法人企業メセナ協議会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄ビル1階
「芸術・文化による震災復興支援ファンド」係
TEL:03-3213-3397 FAX:03-3215-6222
E-mail:gbfund@mecenat.or.jp

タケダ・いのちとくらし再生プログラム

- ※12月上旬から公募開始予定
- 東日本大震災により被災した地域の復興のため、(認定特活)日本NPOセンターが武田薬品工業株式会社から、アリナミンの収益の一部を寄付金として受け、主に岩手県、宮城県、福島県を対象に実施をするものです。自主的な事業以外に、「いのちとくらし」に関わるより多くの社会的課題を発掘し、解決するための団体に対して助成します。
- 助成対象:NPOをはじめとする民間非営利の団体
- プログラム:テーマは「人道支援」「基盤強化支援」とし、新規の助成を公募します。
- 助成金額:詳しくは<http://www.inochi-kurashi.jp/>をご覧ください。
- 連絡先:認定特定非営利活動法人日本NPOセンター
タケダ・いのちとくらし再生プログラム事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル245
TEL:03-3510-0855 FAX:03-3510-0856
E-mail:info@inochi-kurashi.jp

たった女性同士で、気持ちを語り合い、ほっとできる時間を過ごしませんか。

- 日 時:11月24日(木) 18:30~20:30
- 場 所:エル・パーク仙台5階 創作アトリエ
- 対 象:今回の震災で支援にあたった女性ならどなたでも
- 定 員:15名 ※申込先着順
- 申込方法:下記連絡先までお問い合わせください
- 申込締切:11月21日(月)
- 託 児:対象:6ヶ月以上小学校1年生まで(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください)
利用料:300円(子ども1人/1回)
申込締切:11月16日(水)
- 主 催:(特活)イコールネット仙台
- 連絡先:TEL:090-1375-2871(綱島) FAX:022-281-0389

11/26 12/17 百年前の古地図で歩く 仙台さんぽ

100年前の古地図を見ながら、まち歩き。仙台の歴史に新発見があるかも!?歩いて、見て、学んだあとは、お茶っこ飲みながらみんなで語り合い。充実した楽しい時間をお過ごしください。

- 内 容:第3回 11月26日(土)西公園・片平丁
第4回 12月17日(土)名掛丁・新伝馬町
各回とも13:30~15:30
- 講 師:狩野栄喜氏(仙台市歴史観光ガイドボランティアの会代表)
- 参加資格:おおむね60歳以上の方
- 募集人員:各回10数名(先着順)
- 参加費:1,500円(お茶・菓子つき)
- 申込方法:往復はがきで事務局宛
各回とも1ヵ月前より受付開始、2週間前で締切(必着)。
応募多数の場合は先着順。実施日1週間前までに返信。
- その他:1時間のまち歩きのと、お茶っこ飲みを設けます。各自、現地集合・現地解散。
- 主 催:(特活)20世紀アーカイブ仙台
- 連絡先:〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2 CLIPビル2階
TEL:022-387-0656 FAX:022-387-0651
URL:<http://www.d2.dion.ne.jp/~clip/20thcas.html>

11/27 CAP子どもワークショップ

もしも友達にいじめられたら、もしも知らない人に連れて行かれそうになったら、何ができるでしょう。劇や話し合いなど体験しながら学びます。1年に1回だけの特別企画です。※参加希望の児童の保護者は「CAPおとなワークショップ」(11/8、1/10開催)への参加が必須となります。詳細についてはお問い合わせください。

- 日 時:11月27日(日) 10:00~11:30(9:45受付)
- 場 所:仙台市福祉プラザ 第3研修室
- 内 容:自分を守る方法を体験しながら考えます。
(簡単で効果的な護身術も教えます)
- 対 象:就学前~小学低学年(きょうだいで参加希望の場合はご相談ください)※子どもだけの参加になります。
- 定 員:15名(先着確定順定員になり次第締切)
- 参加費:500円
- 申込方法:子どもの氏名(読み仮名)、保護者氏名(読み仮名)、電話番号、FAX、メールアドレスを明記の上、電話・FAX・メールで申込
- 主 催:CAPみやぎ
- 連絡先:〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2
みやぎのちと人権リソースセンター2階
TEL:022-295-0882 FAX:022-295-0882
E-mail:capmiyagi@yahoo.co.jp
URL:<http://www.cap-miyagi.com>

11/27 男女共同参画推進せんだいフォーラム2011 ファイナーレ 沢知恵コンサート 「こころのうた いのちのうた」

今だからこそ、世代を超えて伝えたい作品・メッセージを「うたとピアノ」でお届けします。

- 日 時:11月27日(日) 16:00~17:30
- 場 所:エル・パーク仙台ギャラリーホール(三越ビル定禅寺通り館内)
- 出 演:沢知恵氏(うたとピアノ)
- 定 員:150名
- 参加費:500円
- 託 児:300円(子ども1人/1回)
※先着順・要申込、定員になり次第締切
※6ヶ月以上小1まで
※申込は「エル・ソーラ仙台」TEL:022-268-8044
- 主 催:財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先:男女共同参画推進せんだいフォーラム2011事務局
(エル・パーク仙台 市民活動スペース)
TEL:022-268-8301 FAX:022-268-8316
E-mail:park-space@sendai-l.jp

11/28 第4回被災地「支援者」のための スキルアップ研修&相談会 ~絆の回復に向けて~

NPO・NGOスタッフとボランティアなどとの間で起きてしまったトラブルに対して、問題を拡大させないための対策、関係修復に向けた解決ルート等、具体的事例を通して参加者が平和的な問題解決を実践するワークショップを開催します。

- 日 時:11月28日(月)19:00~21:00
- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール
- 定 員:30名
- 参加費:無料
- 申込方法:電話またはメールで申込
- 主 催:(特活)World Open Heart
- 連絡先:TEL:022-398-7129
E-mail:World.open.heart@gmail.com

12/5 学習会 「これからのエネルギーを考えよう」

東京電力福島第一原発事故により、エネルギー供給の不安定さが明らかになりました。原子力発電の問題を含む、今後のエネルギーのあり方や、わたしたちの暮らしについて考えます。

- 日 時:12月5日(月) 10:30~12:30
- 場 所:エル・パーク仙台6階 スタジオホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1)
- 講 師:新妻弘明氏(東北大学大学院環境科学研究科 教授工学博士 エネルギー・環境学)
- 参加費:無料
- 託 児:あり(2歳以上、要申込)
- 申込締切:11月30日(水)
- 主 催:みやぎ生活協同組合
- 連絡先:みやぎ生協生活文化部くらしの活動事務局
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 文化会館ウイズ内
TEL:022-218-5331 FAX:022-218-5945
E-mail:sn.mkankyok@todock.jp

11/19 第15回仙台ダルク記念フォーラム「ありがとう」
 ～ダルクはひとつのチームなんです～

- 日 時:11月19日(土) 10:00～17:00
- 場 所:仙台国際センター「橘」
- 内 容:★仲間による体験談
 ★映画「仙台ダルク物語」
 ★講話 岩井喜代仁氏(茨城ダルク代表)
 ★仙台すずめ踊り披露(夏まつり仙台すずめ踊り実行委員会)
 ★次世代のリーダーたち「私とダルク」
 ★公開シンポジウム「ダルクのこれから」
 石川達氏(東北会病院院長)
 近藤恒夫氏(日本ダルク代表)
 飯室勉氏(仙台ダルク代表)

- 参加費:1,000円
- 主催:(特活)仙台ダルク・グループ、仙台ダルク
- 連絡先:仙台ダルク
 〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-1-26
 TEL:022-261-5341 FAX:022-261-5340
 URL:http://www6.ocn.ne.jp/~s-darc/

11/19 12/17 大切な人を亡くした方の
 「わかちあいの会」in仙台

【大人向けのプログラム】

ご遺族同士の今の気持ちや困ったことなど、ご遺族同士だから分かり合える気持ちなどをとお話することができます。

- 日 時:11月19日(土)、12月17日(土) 両日14:00～16:30
- 対 象:大切な人を亡くされた方(死因は問いません)

【子どものためのワンデイプログラム】

大切な人をなくした子ども達があつまって、お話しをしたりゲームをしたり、楽しい時間をすごします。

- 日 時:11月19日(土)、12月17日(土) 両日13:00～16:30
- 対 象:親やきょうだい、大切な人を亡くした幼児～小中学生

【共通事項】

- 場 所:仙台青葉学院短期大学(仙台市若林区五橋3-5-75)
- 参加費:無料
- 申込方法:下記連絡先まで問合せください
- 主 催:仙台グリーンケア研究会
- 連絡先:TEL:080-3326-5612 FAX:022-369-8012
 E-mail:griefoffice@gmail.com

11/20 冬に向けてのこころの準備と体調管理

- 日 時:11月20日(日) 13:30～14:50
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第2会議室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 講 師:太田重雄氏(健康管理士)
- 対 象:健康づくりに関心のある方、老若男女を問わずどなたでもご参加ください。
- 参加費:300円
- 主催:(特活)宮城県健康管理士会
- 連絡先:(代表:太田)TEL:022-281-2388 FAX:022-281-0827

11/21 男女共同参画推進せんだいフォーラム2011企画
 「震災を超えて～女性のための語り合いサロン～」

被災地に住む女性たちは、誰もが様々な痛みを抱えています。震災体験を語り合い、気持ちに寄り添い合いながら、ほっとできる時間を過ごしませんか。

- 日 時:11月21日(月) 13:30～15:30
- 場 所:エル・パーク仙台5階 創作アトリエ
- 対 象:被災状況に関わらず、被災地で暮らす女性ならどなたでも
- 定 員:15名 ※申込先着順
- 申込方法:下記連絡先までお問い合わせください
- 申込締切:11月18日(金)
- 託 児:対象:6ヶ月以上小学校1年生まで(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください)
 ◎利 用 料:300円(子ども1人/1回)
 ◎申込締切:11月13日(日)
- 主 催:(特活)イコールネット仙台
- 連絡先:TEL:090-1375-2871(綱島) FAX:022-281-0389

11/23 第14回宮城県こども囲碁大会

- 日 時:11月23日(水・祝日) 10:00～(受付9:00～)
- 場 所:(財)宮城県教育会館 フォレスト仙台
 (仙台市青葉区柏木1-2-45)
- 対 象:幼稚園児・小学生・中学生
- 定 員:300名(先着順)
- 参加費:1,000円(昼食は各自持参ください。なお、事前に申込みいただくと500円で昼食準備します。)
- 申込方法:所定の申込用紙に記入の上、参加費を添えて下記連絡先まで申込
 第14回宮城県こども囲碁大会実行委員会
 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-3 プレイビル3F
 駅前囲碁サロン内 今、子供たちと碁を！宮城の会
 TEL:022-216-2915 FAX:022-221-6907
- 申込締切:11月10日(木)
- 主 催:仙台ライオンズクラブ「今、子供たちと碁を！」宮城の会
- 連絡先:TEL:090-2888-8463(担当:菊川)
 E-mail:kiku714@softbank.ne.jp

11/23 知っておこう
 福島原発事故と私たちの暮らし

東京電力福島第一原発事故をうけて、最も心配される放射能汚染やエネルギーの問題について、竹内峯先生から、知っておかねばならない正しい知識をもとに、今後どのようにくらしていけばいいのか、分りやすく話していただきます。

- 日 時:11月23日(水・祝) 13:30～15:30
- 場 所:エル・パーク仙台 セミナーホール
 (141ビル5階(仙台三越定禅寺通り館))
- 講 師:竹内峯氏
 (東北大学名誉教授、専門:天体物理学・放射線と核反応研究)
- 参加費:300円(資料代)
- 託 児:対象:6ヶ月以上小学校1年生まで(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください。)
 ◎利 用 料:300円(子ども1人/1回)
 ◎申込締切:11月15日(火)
 (先着順、定員になり次第締切)
 ◎申込先:エル・ソーラ仙台
 (TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045)
- 主 催:財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先:21世紀をひらくみやぎ女性のつどい
 TEL/FAX:022-229-1524(天野方)

11/24 男女共同参画推進せんだいフォーラム2011企画
 「震災を超えて～女性のための語り合いサロン～」

震災の発生後、被災者を支援した人たちもまた疲弊しています。支援にあ

11/14 ▶ **11/15** **初心者向けパソコン教室のご案内**
～もっとパソコンを楽しみませんか～

- 内 容:★第1回 ワードで年賀状を作る
デジタル写真とイラストを使ってオリジナル年賀状を作ります
- 日 時:11月14日(月)～15日(火) 両日13:30～16:30
受講料:2,000円
★第2回 エクセルで〇〇を作る
天気、放射線量の記録、日記帳、住所録を作ります。
日時:12月6日(火)～7日(水) 両日13:30～16:30
受講料:2,000円
- 場 所:いきいきネットサロン(でんでんいきいきネット)
(仙台市若林区五橋3-2-1 NTT五橋第2ビル3F)
- 定 員:10名(定員になり次第締切)
- 申込方法:名前、住所、電話番号、自宅でお使いのパソコンのOS・Officeのバージョン、パソコン持参の有無を明記の上、電話、FAXにて申込
- 主 催:(特活)でんでん宮城いきいきネットワーク
- 連絡先:TEL:022-712-4986 FAX:022-712-4987

11/16 **11/24** **12/7** **12/21** **子どものこころの相談室**

震災後のお子さんご様子に何か気がかりなところはありますか? お子さんの場合も身体や日頃見られない行動で現れることがあります。もし気になることがありましたら、ご相談ください。児童精神科医と専門スタッフが相談に応じます。

- 日 時:11月16日(水)、24日(木、午前中のみ)
12月7日(水)、21日(水) 10:00～15:00
※平成24年1月以降も行います。詳細はお問い合わせください。
- 場 所:カメイ勾当ビル3F 第3会議室(仙台市青葉区二町12-26)
- 申込方法:下記連絡先まで事前に申込
- 主 催:仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぼーと仙台)
- 連絡先:〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字三居沢1-6
TEL:022-265-2191 FAX:022-265-2190

11/17 **第17回「ピュア・ハーツinせんだい」**
～みんなであつろう 笑顔の輪～

- 日 時:11月17日(木) 10:00～16:00
- 場 所:広瀬文化センターホール(仙台市青葉区下愛子字観音堂5)
※駐車場は台数に制限があります。
- 参加者:宮城県内の知的障害児・者
- 内 容:芸術活動の舞台発表(合唱・合奏・劇・芸能・その他)
- 入 場 料:無料
- 主 催:仙台市知的障害者芸術文化協会
- 連絡先:「ピュア・ハーツinせんだい」担当事務局
〒989-3213 仙台市青葉区大倉字大原新田16-51
千代福祉会おおぞら学園内
TEL:022-393-2334 FAX:022-393-2335

11/17 **お父さん支援員のための**
研修会in仙台 vol.2

全国各地で行政とともに父親支援の専門家を養成し、父親支援を展開してきた実績に、児童福祉や男性相談の専門家、教育、小児保健などの専門家の協力を得て構築した、被災地の父親を支援するための特別プログラムです。ぜひご参加ください。

- 日 時:11月17日(木) 13:30～16:30
- 場 所:仙台国際センター 白樺(しらかし)
- 内 容:★父親支援の基礎研修
★被災による困難を抱える家族支援のポイント
★父子家庭の暮らしほか
- 講 師:坂本純子氏((特活)新座子育てネットワーク代表)
佐野育子氏((特活)新座子育てネットワーク父親支援担当)
村上吉宣氏(全国父子家庭連絡会)
汐見稔幸氏(白梅学園大学学長)(映像ゲスト)ほか
- 対 象:仙台市および周辺自治体の子育て支援者
- 定 員:50名(先着順)
- 申込方法:「お父さん支援員のための研修会」11/17仙台への参加申込の旨、氏名、所属・団体、連絡先TELを明記の上、以下の連絡先まで申込
メール:soumu@mother-wing.sakura.ne.jp
FAX:048-482-5731
※受講票などの返信はしません。
当日受付にてお名前を申し出てください。
- 主 催:(特活)新座子育てネットワーク
- 共 催:一般社団法人マザーウイング
- 連絡先:一般社団法人マザーウイング TEL:090-6784-5048
(特活)新座子育てネットワーク TEL:048-482-5732

11/18 **家庭教育で伸ばそう子どもの学力**
～こうすれば子どもは必ず伸びる～

- 日 時:11月18日(金) 10:00～12:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第2会議室(仙台市宮城野区権ヶ岡5)
- 内 容:「不登校・ひきこもりから奇跡の大逆転」
講師:池上公介氏(学校法人池上学園理事長)
・「絆が生き抜く力と基礎学力を育てる-ミヤギユースセンター10年の歩み」
講師:土佐昭一郎氏(特活)ミヤギユースセンター代表
- 定 員:40名
- 参加費:無料
- 申込方法:下記連絡先まで問合せ
- 主 催:(特活)ミヤギユースセンター
- 連絡先:TEL:022-256-7977
URL:<http://www.miyagiyouht.npo-jp.net>

11/19 **ドキュメンタリー映画「幸せの経済学」**
仙台上映会&トークセッション

この映画は、「幸せ＝物質的な豊かさ」という定義が崩れ去った今こそ、経済成長に代わる新しい「豊かさ」を考えるべきことを訴え、私たちの暮らしのあるべき姿の一つを示してくれます。映画鑑賞後には、「豊かさ」や「幸せ」について語り合い思いを共有する時間を設けます。

- 日 時:11月19日(土)
(1回目)10:30～12:30 (2回目)14:30～16:30
- 場 所:エルソーラ仙台・大研修室(AER28階)
- ファシリテーター:風見正三氏(宮城大学事業構想学部教授)
- 定 員:各回60名
- 参加費:1,200円(資料・ドリンク代)
- 申込方法:電話、FAX、メールまたは下記HPの「お問い合わせフォーム」から申込(要事前申込)
- 主 催:せんだい・みやぎ「幸せの経済学」上映実行委員会
- 連絡先:TEL:070-6629-3956(担当:ナルサワ)
FAX:022-349-0877(植物工房ZEN内)
E-mail:sendai.ecohapi@gmail.com
URL:<http://ecohapi.blog.fc2.com/>

- 場 所:塩竈市公民館 会議室・図書室
- 講 師:三浦一泰氏・高橋幸三郎氏・鈴木和榮氏(NPOみなとしほがま)
- 定 員:原則として全講座出席できる方70名(先着順)
- 参加費:無料
- 申込方法:住所、氏名、年齢、電話番号を下記連絡先まで申込
- 主 催:塩竈市教育委員会教育部 生涯学習課
- 連絡先:〒985-0036 塩竈市東玉川町9-1
TEL:022-362-2556 FAX:022-365-3342
E-mail:e_edu@city.shiogama.miyagi.jp

11/13 さよなら原発1000万人 アクションinみやぎ

- 日 時:11月13日(日) 11:00~16:00
※15:00より市民ウォーク
- 場 所:仙台市勾当台公園 野外音楽堂
- ゲ ス ト:李政美(いぢょんみ)氏(歌手)
稲垣達也氏(ピアニスト、「とっておきの音楽祭SENDAI」元実行委員長)
苫米地サトウ氏(シンガー・ソングライター)
幹(miki)(歌手)
- 主 催:「さよなら原発1,000万人アクション」inみやぎ実行委員会
- 連絡先:E-mail:mcn_no_nukes@yahoo.co.jp
Twitter:@sayonaraatmc

11/13 人と森のつきあい方 ～間伐材の可能性の検証～

当方人の活動拠点である「間伐材ステーション仙台茂庭」のスタートにあたり、仲間を増やし活動を根付かせ、間伐材の消費拡大に向けて今回のセミナーを開催いたします。

- 日 時:11月13日(日) 10:00~12:00
- 場 所:湯本市民センター(仙台市太白区秋保町湯向2-20)
- 内 容:「火のある暮らし始めませんか～間伐材の資源利用、その現状と実践～」
講師:深澤光氏(マキワリスト)
・「森は生命の根源～人と森の関わり方について～」
講師:山内文男氏(東北大学名誉教授、仙台生ゴミリサイクルネットワーク会長)
- 対 象:宮城県内の森と関わる暮らし方に興味・関心のある方
- 定 員:50名
- 参加費:500円 ※中学生未満:無料
- 申込方法:下記連絡先まで、電話、FAX、メール、HP申込フォームにて申込
- 主 催:(特活)フォレストサイクル元樹
- 連絡先:TEL:090-9631-1610 FAX:0228-52-4335
mail:npo@fs-genki.com URL:http://www.fs-genki.com

11/13 薪作り&おいしい活用体験会 ～薪割り・天水桶作り・薪クッキング～

今回は樹のさまざまな活用方法や楽しみ方をご紹介します。冬に向けて薪ストーブで焼きおにぎりを作ったり、雨水を溜める天水桶を樹で作ったり…。古くから親しんできた樹のあったかさやぬくもりをご体感ください。

- 日 時:11月13日(日) 12:00~15:30(集合12:00)
- 場 所:湯本市民センター駐車場(仙台市太白区秋保町湯向2-20)
- 定 員:50名
- 参加費:500円(小学生以下無料、ただし保護者同伴のこと)
- 申込方法:氏名(フリガナ)、性別、電話番号、生年月日を明記の上、下記連絡先まで申込

※保険をかけますので、漏れなく記入してください。

- 申込締切:11月10日(木)
- 主 催:財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 共 催:(特活)フォレストサイクル元樹
- 連絡先:財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階
TEL:022-276-5118 FAX:022-219-5713
E-mail:melon@miyagi.jpn.org

11/13 シンポジウム 震災時の移動サービスについて ～東日本大震災時の状況と今後の課題～

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻地域の事例を基にして、震災時における公共交通機関の被災実態と、その復旧状況を理解します。併せて、震災以来継続されているNPO、ボランティアによる移動支援活動について理解し、今後の震災時における移動支援の課題と対策を検討します。

- 日 時:11月13日(日) 13:00~16:30
- 場 所:仙台市シルバーセンター7F 第1研修室
- 内 容:★事例報告
及川伸一氏(石巻市総合政策課長)
竹田保氏(NPO移動支援Rera代表)
★パネルディスカッション
パネラー:徳永幸之氏(宮城大学教授)
杉本依子氏(特活全国移動サービスネットワーク理事)
及川孝氏((有)フタパタクシー社長)
中村怜子氏(特活)住民互助福祉団体ささえ愛山元
コーディネーター:北川進氏(宮城県社会福祉協議会係長)
- 対 象:市町村交通・福祉関係者、社会福祉協議会関係者、障がい者福祉施設関係者ほか、関心のある方
- 参加費:無料
- 申込方法:所定の申込用紙に必要事項を明記の上、下記連絡先までFAXにて申込
- 申込締切:11月7日(月)
- 主 催:(特活)移動サービスネットワークみやぎ
- 共 催:(特活)全国移動サービスネットワーク
- 連絡先:(特活)移動サービスネットワークみやぎ
FAX:022-362-3303(坂井正義宛)

11/13 仙台ピアカウンセリングの集い～第2回 仲間と共に癒しの時を持ちませんか!～

大震災であなたの心は折れそうになっていませんか?こんな時だからこそ話し合える仲間が必要なんです!仲間と経験と力と希望を分かち合い共に勇気を持って力強く新しい人生(回復と生活の再建)に出発しませんか!

- 日 時:11月13日(日) 10:00~12:00
- 会 場:仙台市福祉プラザ10階 第4研修室
- 対 象:精神障害当事者、今回の大地震で心が痛み悩んでいる方、医療、福祉関係者、ボランティア、ほか関心のある方
- 内 容:ひたすら体験を語り又聴くことを通して「精神疾患からの回復を目指す自助グループの集い」です。オープン方式例会には当事者、専門家のスピーチやミニ講話をプログラムの中に組み込んでいます。今回はうつ病体験者のスピーチを予定しています。
- 定 員:20名(予約制)
- 参加費:無料
- 申込方法:下記連絡先まで電話またはメールにて申込
- 主 催:仙台心のケア研究会
- 連絡先:仙台心のケア研究会
TEL:080-3328-7186 E-mail:qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp

ちに合わせた支援をしていくことを目指します。
 ※体験利用：年間50日、連続30日まで利用可能
 ※定員：4名
 ★居宅介護事業としくん家
 ホームヘルパーが訪問し、様々な生活のお手伝いを行います。身体介護、通院等介助、家事援助
 ★介護予防・訪問介護事業所ゆうわケア
 一人暮らしでトイレやお風呂に行くのが不便な方などはお気軽にご相談、お問合わせください。

- 主 催：(特活)マイホームとしくん家
- 連絡先：〒981-0905 仙台市青葉区小松島2-26-1
TEL/FAX:022-233-3755(月～金曜 9:00～17:00)

第1,3,5日曜日 マンション管理についての無料相談会

マンション管理士によるマンション管理の無料相談会を開催します。

- 日 時：原則毎月第1、第3、第5日曜日 13:00～16:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 申込方法：原則として事前予約が必要
所定の申込書に記入の上、事務局にFAXにて申込
- 主 催：宮城県マンション管理士会
- 連絡先：相談専用TEL:022-398-3021
申込FAX:022-244-6021

消臭・除菌いたします！

大震災でも高い評価を得た消臭剤を使用！「驚きの効果！」ウイルスの除去、カビ・悪臭の除去、花粉・アレルギー対策等に効果を発揮します。

- 目 的：消臭・除菌による生活環境の改善
- 場 所：室内(トイレ・風呂等)、車、集会場等
- 費 用：今ならお試しキャンペーンで「無料」
- 主 催：(特活)シニアサポートセンターみやぎ
- 連絡先：TEL:022-226-2690 携帯:090-3980-8891(担当:関谷)

イベント

11/12 ホントの国際語って ～こんにちは・エスペラント～

国や民族の違いにかかわらず、人と人が対等の立場で交流することのできる国際共通語エスペラントをごぞんじですか？私たちがエスペラントを使っておこなっているさまざまな国際交流の様子をご紹介します。

- 日 時：11月12日(土) 14:00～16:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：★エスペラント語って？★どう使う？ どう学ぶ？
★話してみよう、聞いてみよう。
★いろいろな本や雑誌、質問コーナーなど
- 説 明：仙台エスペラント会会員
- 参加費：無料
- 主 催：仙台エスペラント会
- 連絡先：TEL/FAX:022-376-5641(大越啓司)

11/12 介護に関するお悩み相談会

- 日 時：11月12日(土) 13:00～15:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 対 象：どなたでも参加できます
- 参加費：100円(資料代)
- 申込方法：不要
- 主 催：公益社団法人認知症の人と家族の会
- 連絡先：宮城県支部 TEL/FAX:022-263-5091

11/12 第10回仙台ゴスペル・フェスティバル

全国から公募したヴォーカルグループが多種多様なステージを展開し、ドーム型の屋根のアーケード商店街は、まるごと「大聖堂」のよう。」素晴らしい歌声が、秋めく杜の都に響き渡ります。

- 日 時：11月12日(土)
【ストリート演奏】11:00～16:50
【フィナーレ】17:00～18:20(予定)
- 場 所：勾当台公園、クリスマスロード商店街、サンモール一番町商店街ほか、仙台市中心市街地ストリート全10会場
- 出演者：ゴスペルを始め、ジャンルを問わないヴォーカルグループ00組
- 主 催：第10回ゴスペル・フェスティバル実行委員会
- 問合せ先：事務局(担当:小川川)
〒981-8003 仙台市泉区南光台7-23-69
TEL:022-762-5742 FAX:020-4665-5685
E-mail:info@gosfes.org URL:http://www.gosfes.org

11/12 12/3 『奥鹽地名集』の世界 ～江戸時代の塩竈・ひと・文化

「NPOみなとしほがま」が翻刻・解説した『新釈奥鹽地名集』をテキストに、江戸時代の塩竈のまちの様子や暮らし、歴史、文化について学びます。

- 日 時：(第2回)11月12日(土) (第3回)12月3日(土)
各回10:00～11:30

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2011.10.17現在) 敬称略

- 正会員40名
★仙台市 フリースクールだいと
- 賛助会員22名
★仙台市 宮内昭穂
★柴田町 とっておきの広場
- 情報会員74名
★仙台市 田所希衣子(社協)仙台市泉区社会福祉協議会
★石巻市 (社福)石巻地域総合生活支援センター
★名取市 (社協)名取市ボランティア連絡会

会員募集

会員種類	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人-NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

郵便口座番号 02250-0-43800

振替口座 加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる (会員登録の方は、通信欄に会員の種別をご記入下さい)

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます
※正会員以外は、総会での議決権がありません

information

10月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

有給スタッフ

11/26 ▶ 11/27 東日本大震災弱者支援事業 「こころ支援員」募集

被災地で、元気をなくした子どもや困りごとのある方に、あなたの笑顔をお届けませんか。傾聴や共感をしていただく支援員として、あなたのお力が必要です。
※会員としてLEAF26の事業企画をやりたい方も募集しています。

- 派遣日数:11月~2月(4ヶ月間)の土・日で月1~3回、延べ10日間
- 活動場所:東松島市の被災地、イベント予定会場地等
- 活動内容:被災者の困りごと等を丁寧に傾聴すること。共感すること
- 対象:健康で笑顔、丁寧に傾聴できる方、子どもの育成に関心のある方。この支援事業に共感し行動に取り組みめる方であれば特に資格は求めません。
※下記の研修を受講していただきます。

- 募集人数:15名程度

【研修について】

- 日時:11月26日(土) 13:00~17:00
11月27日(日) 9:30~15:00
- 場所:宮城県婦人会館 第4会議室
- 研修費:無料
※事前の申込書で研修の受講を許可された方が受講できます。
- 持ち物:筆記用具、印鑑
- 支援作業:報酬有(6,000円/日)詳細は直接ご確認ください。
- 申込方法:所定の申込用紙を印刷し、封書で送付
※<http://leaf26.or.jp/sub4.html>からダウンロード可能
- 申込締切:11月17日(木) 消印有効
- 主催:(特活)LEAF26
- 連絡先:〒987-1303 大崎市松山金谷字向田174番地7
TEL:0229-87-3026 FAX:0229-87-3026
E-mail:leaf@leaf26.or.jp URL:<http://leaf26.or.jp>
問合せ担当:090-2951-3672(古川)、
090-4555-0026(leaf)

お知らせ

12月 うちエコ診断 申込受付中(締切12月末まで)

ライフスタイルの見直しに! CO2削減・節電のために! 専門知識を持った「うちエコ診断員」が、各家庭に合わせたオーダーメイドの対策を提案、すぐに実践できるように具体的な情報も提供します。

- 募集期間:2011年12月末まで
- 内容:1)事前準備
アンケート記入後、診断の日程を決定
2)うちエコ診断の受診
1家庭50分程度の診断を行います。診断ソフトを用いて家庭のCO2排出量等をわかりやすく解説

3)事後調査

受診後約2ヶ月で、診断結果の実施状況などの事後アンケートを送付

- 申込方法:所定の申込用紙に必要事項を明記の上、FAX、郵送、メールにて申込
- 主催:環境省
- 連絡先:(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
ストップ温暖化センターみやぎ
(宮城県地球温暖化防止活動推進センター)
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F
TEL:022-301-9145 FAX:022-219-5710
E-mail:stop_gw@miyagi.jpn.org
※詳細:
http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/index.htm

事業案内

月~金 「さをり工房かおす」利用者募集

「さをり本舗 ねこや」は、2011年8月1日より、就労継続支援B型事業所に昇格し、名称も新たに「さをり工房かおす」となりました。見学を希望される方はお気軽にご相談下さい。初心者でも大丈夫。ていねいに指導いたします。

- 利用日時:月曜日~金曜日 11:00~15:00
(土・日曜日は休み、祝日は13:00まで)
- 場所:第1工房…仙台市宮城野区萩野町1-22-10
第2工房…仙台市宮城野区新田3-20-25
- 事業内容:★ブティック「さをり織り」製品等の販売
★喫茶コーヒーショップ★工房「さをり織り」
- 利用対象:就労継続支援事業B
※利用条件についてはご相談ください
- 主催:(特活)黒川こころの応援団
- 連絡先:さをり工房かおす
〒983-0038 仙台市宮城野区新田3-20-25 1階
TEL:022-352-1215

マイホームとしくん家 事業案内

重い知的障害であっても、大人になれば親元を離れ、ごく普通に独立したくらしをしたいと思うのです。そんな思いを受け止めて、重い知的障害がある人も健常な人もお互いに支えあって生きていく、そんな社会の一翼になれたらという思いから、下記の事業を行っております。

- 内容:★移動支援事業としくん家
ホームヘルパーが訪問し、前後の準備を含む買い物や余暇活動、イベント参加等の社会参加、外気浴等の外出の付き添いや介助を行います。
★共同生活介護事業マイホームとしくん家(ケアホーム)
どんなに重い障害であっても、一人ひとりの気持ち

被災地NPOのための
出前専門相談会 **無料**

東日本大震災で被災した地域におけるNPO等に、運営上の悩みや助成金申請、法人設立などに対して、個別にアドバイスをします！
また、今年の6月に改正になったNPO法や認定NPO法人に関する税制改正の情報や、現在募集中の助成金情報などの紹介をします。

岩沼市

日時 11月11日(金)10:00~16:00
会場 岩沼市勤労者活動センター
内容 ●10:00~11:00
助成金情報、NPO法改正等の情報を説明
●10:00~16:00
相談会
後援 岩沼市

石巻市

日時 11月14日(月)・15日(火)10:00~16:00
会場 石巻市市役所会議室302
内容 ●10:00~11:00(14日のみ)
助成金情報、NPO法改正等の情報を説明
●10:00~16:00(14,15日開催)
相談会
後援 石巻市

山元町

日時 11月17日(木)10:00~16:00
会場 山元町中央公民館
内容 ●10:00~11:00
助成金情報、NPO法改正等の情報を説明
●10:00~16:00
相談会
後援 山元町

共通事項

- 参加対象:NPO(任意団体、法人)、これから団体を立ち上げようと考えている方
- 定員:講座は15名程度、相談会は5団体(先着順)
- 参加費:無料
- 申込方法:氏名、団体名、連絡先をFAX、メール、電話にて事前申込(余裕があれば当日申込可)
- 主催:宮城県
- 企画・実施:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡3-11-6コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎNPOプラザ開館



10周年記念
NPOフォーラム

今年で開館10周年を迎えた、みやぎNPOプラザ。これを記念して、NPOのこれまでの歩みを振り返り、これからのNPOの進む方向について考えるフォーラムを開催します。「NPOってどんなことをしているの?」という方から、長年NPOの活動をしている方まで、どなたでも気軽に参加できるプログラムがいっぱいです。

日時 11月19日(土) 10:30~19:00

会場 みやぎNPOプラザ全館

【交流サロン】

- 10:30~12:00 ● NPOのソーシャルビジネス事例発表会
- 13:00~14:30 ● 3.11宮城のNPOはどう動いたか それぞれの救援活動から
- 14:45~17:15 ● パネルトーク「みやぎのNPO~これまでの10年、これからの10年」
- 17:30~17:45 ● NPO法人創る村(東松島市)からの歌のプレゼント
- 17:45~19:00 ● 交流会(要申込、1,500円)

【各会議室】みやぎのNPOひろば

プラザを拠点に活動を続けてきたNPOが、講座やワークショップを開催し、それぞれの活動を分かりやすくご紹介します。興味のある方ならどなたでも参加OKです！
※申し込みが必要なものもありますので、詳細はみやぎNPO情報ネットで確認いただくか、みやぎNPOプラザにお問い合わせください。

【交流サロン】NPOのお店コーナー ●時間:11:00~15:00

NPOがお店を開きます。ここでしか手に入らない貴重なものもあるかも？

- ※みやぎのNPOひろば、NPOのお店コーナー参加団体は、P8をご覧ください。
- 詳細は「みやぎNPO情報ネット」でもご紹介しています！ <http://www.miyagi-npo.gr.jp/>
- 連絡先/みやぎNPOプラザ TEL:022-256-0505

ぜひ、ご参加ください!!

NPOに興味のある方、
必見です!

プログラム